

# ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告(第136回)

実施日時:2024年2月28日(水) 10:30~15:00

参加者:豊田先生・劔持先生・蛭田先生・藤田先生



+クラブ員(10)、園芸療法課程修了生ほか=20名

場所:園芸療法ガーデンほか

内容:10:30~各班の作業(展示ゾーンの花壇づくりやメンテ作業)  
12:10~昼食をとりながら懇親・意見交換<以後、東作業室>  
13:00~ミニ講座 講師;劔持先生

テーマ;『園芸療法との歩みと学び ~20年の実践から~』  
併せて「ラベンダーの匂い袋づくり体験」



<2班>冬の終わりの暖かい1日でした。◆お知らせ

枯れた芝を手で探ると、雑草たちがもう春の準備を始めていました。

◎2月の活動内容

①カリンの剪定について学ぶ・カリンの木、にのる位のゼリー状の塊が6~7個。中には実も落ちて、その枝ぶりがよく分かります。剪定は「枝の太さ」「枝の色」「枝の勢い」を見極め、バランスよく切り戻すことを学びました。②・①の学びを元に、成体は繁殖活動後、春眠し5月頃にアジサイの剪定をする。③除草。④グラス類のメンテ・カレックスの仲間が昨年夏の暑さでダメージを受けて消えてしま

った。様子を見てきましたが回復しないので、植え替える必要があるようです。

◎3月の活動予定

①除草・スズメノエンドウ、カラスノエンドウなどを主に除草。②グラス類の植付け。

概略図 (対象エリア)



音の花壇 2班



色の花壇 1班 触れる花壇



寒さが戻り雨の日が多く、当日の天気は気になりましたが、幸い暖かい日差しの日になりました。淡路SAの蜂須賀桜はちらほら開き、ガーデン内実習ゾーンの啓翁桜の蕾も膨らみかけ、一年草の花壇もアブラナ科の花が咲き、春はもうすぐの風情です。

フィールド管理のYさんが重機を使い枯れたコニファーの伐採が終わった後、朝のミーティングに引き続き、メンバーの皆さんが恒例の各花壇を回り、今日の作業ポイントの説明を受けました。

した。新芽が芽吹く頃ですが、落葉樹の樹形がよくわかるこの時期を捉え、カリヤブルーベリを事例に切り戻しと間引きの剪定の違いなど豊田先生から詳しく教わりました。

午後のミニ講座は、劔持先生から園芸療法の教育、研究と実践に取り組んでこられたこれまでの足取りを故郷の人との交わりをも交え興味津々のお話を伺うことができました。さらに針などを使わず手軽に作れる匂い袋づくりも体験できました。

ミニ講座の前には、4年振りに参加の皆さん一緒に昼食時をお世話により具だくさんの美味しい豚汁を味わうことができました。

世話人:植田(3/1記)

<3班>ハーブ花壇の手入れは、定・ラベンダーの枯れ枝を抜き取り、今後挿し木をして新しいラベンダーを植える予定です。このほかに雑草取りのポイントを皆さんに教えながら、抜き取り作業で本日の作業を終わりました。(Mさん)

味覚と香りの花壇 3班

<1班>暖か気持良く作業をすることができ、久しぶりの昼食会や劔持先生のお話、匂い袋制作と堪能しました。

◎作業内容

《色の花壇》・傷んだ葉、花から摘み、周辺の除草・先月補植したが再び無くなっている所等にピオラ(U提供)を補植・ナメクジ駆除の薬散布《触れる花壇》・アオキ、アナベル等の剪定を豊田先生にして頂きスッキリしました。・前まではびこっているメドーセージと枯れた部分のラセンイの抜き取り・ニューサイランの伸びた葉やアガパンサスなどの切り戻し《シェードガ

デン(仮称)・斑入りヤブラコ(仮称)・斑入りヤブラコ(仮称)の伐採など》・フィールド管理のYさんによる伐採、その後先生方と4班の皆さんによる枝の切り落としと補修予定と聞いています

が板敷通路の朽ちた部分にコーンの仮置きをしていただきました。・通路の清掃

◎3月例会作業予定

・シェードガーデンの持ち寄りによる一部植栽  
・花壇の奥の見えない部分に雑多な木があるのでできれば整理  
・コニファー伐採後、どのようにするかを検討 (Aさん,Kさん,U)



今後の予定

原則 毎月 第4水曜日

ただし、\*;<2024>12月は第3水曜日

<2024>	3/27	4/24	5/22	6/26	7/24
	8/28	9/25	10/23	11/27	12/18*
<2025>	1/22	2/26	3/26		

現在、クラブ員の募集は停止しています。